ボーリング柱状図

調　査　名　京都御池中学校・複合施設整備等事業に伴う地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.	K	T	1	5	1	7	6	2	0	0	1

シートNo. 15-176-2-5-1

ボーリング名	No.1	調査位置	京都市中京区御池通富小路西入東八幡町５７９		北緯	35° 0' 30.1"
発注機関	京都市都市計画局公共建築部企画設計課		調査期間	平成 15年 7月 31日 ～ 15年 8月 4日	東経	135° 46' 1.2"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.327m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	20.50m					

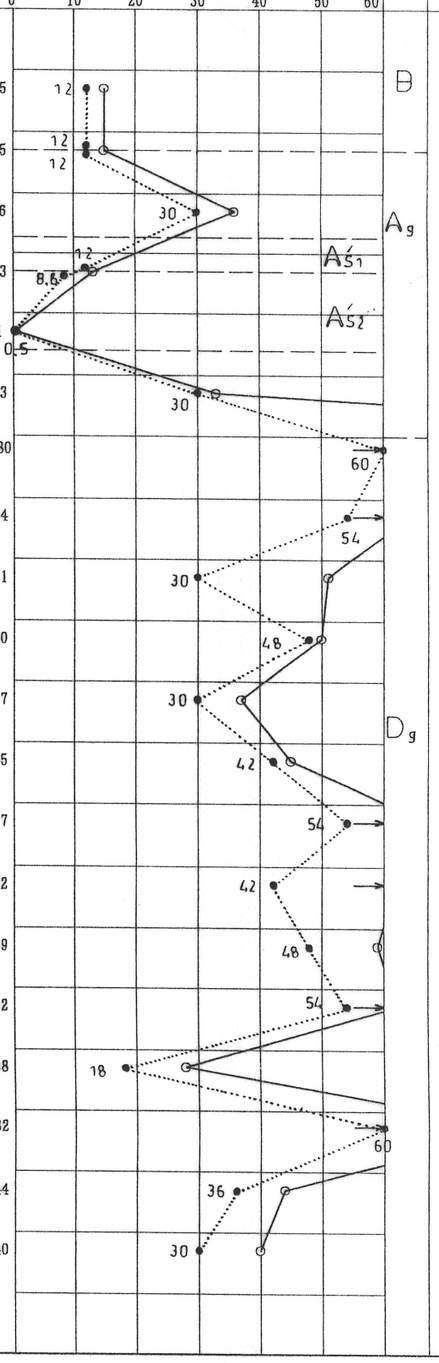
試錐機	KANO KR - 100H	ハンマー落下用具	自動落下
エンジン	ヤンマー NFD-12	ポンプ	KANO V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	含水比(○:大 △:中 ×:小)	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土	暗灰			砂礫主体 上部玉石、CL、瓦、ﾚﾝｶﾞ片混入 含水小 φ2～20mm亜角礫混入 ﾏﾄﾘｯｸｽは細中砂 粘土分わずか混る 2m付近より粘土分多く粘土混砂礫	X	
2	-1.97	2.30	2.30								
3	-3.42	1.45	3.75		砂礫	暗茶褐			φ2～15mm礫主体 含水小 maxφ50mm ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 若干の崩壊性あり 3m付近ﾏﾄﾘｯｸｽは細中砂 締まっている	X	
4	-3.97	0.55	4.30		礫混砂	暗黄褐			中砂主体 含水中 φ2～10mm亜円礫混入	△	
	-4.47	0.50	4.80		砂	暗黄褐			細砂主体でほぼ均一 含水小	X	
5	-5.27	0.80	5.60		シルト混砂	暗黄褐			細中砂主体 ｼﾙﾄ分、含水非常に多く非常に緩い	○	8/1 5.30
6	-6.67	1.40	7.00		砂礫	暗黄褐			φ2～10mm礫主体 含水中 maxφ30mm 亜角礫主体 ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 所々かなり逸泥あり 締まっている	△	
7										X△	
8					砂礫	灰褐～暗黄褐			φ2～15mm礫主体 含水小～中 φ30～50mm礫かなり混入 亜角礫主体 ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 10m付近より含水中～大 全体に非常に良く締まっている	X△	
9										△	
10	-10.47	3.80	10.80							△	
11					砂礫	暗黄褐			φ2～15mm礫主体 含水中～大 maxφ40mm 亜角礫主体 ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 11.6m付近より玉石（砂岩）点在 全体に良く締まっている	○	
12	-12.47	2.00	12.80							○	
13										△	
14					砂礫	暗黄褐			φ2～20mm礫主体 含水中～大 maxφ60mm 亜角礫主体 ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 13.75～13.9m間砂挟む 所々やや逸泥多い部分あり 所々玉石（砂岩、ﾁｬｰﾄ）介在 全体にわずか粘土分含有 φ30～50mm礫密集する部分あり 非常に良く締まっている	○	
15										△	
16										○	
17	-16.67	4.20	17.00							△	
18					砂礫	暗黄褐			φ2～15mm礫主体 含水中 maxφ40mm 亜角礫主体 ﾏﾄﾘｯｸｽは中粗砂 17.3m付近やや粘土分多く若干緩い 全体にわずか粘土分含有 所々薄く礫少ない部分あり 19m付近より良く締まっている	△	
19										△	
20	-20.17	3.50	20.50							△	
21											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15	4	6	5	15/30
1.45				
2.15				
2.45	10	12	14	36/30
3.15				
3.45	6	4	4/12	14/32
4.15				
4.47	1/60			1/60
5.00				
5.60	10	11	12	33/30
6.15				
6.45	48/5	12/5		60/10
7.15				
7.25	20	25	15/8	60/28
8.15				
8.43	14	20	17	51/30
9.15				
9.45	17	17	16	50/30
10.15				
10.45	14	13	10	37/30
11.15				
11.45	15	15	15	45/30
12.15				
12.45	21	21	18/7	60/27
13.15				
13.42	25	22	15	62/30
14.15				
14.45	21	21	17	59/30
15.15				
15.45	22	18	20/9	60/29
16.15				
16.44	11	9	8	28/30
17.15				
17.45	23	30	7/2	60/22
18.15				
18.37	15	14	15	44/30
19.15				
19.45	11	15	14	40/30
20.15				
20.45				

凡例　N値 ——○—— 実測N値(回)　修正N値(回) ……●……



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	1	
1.45		
2.15	2	
2.45		
3.15	3	
3.45		
4.15	4	
4.47		
5.00		
5.60	5	
6.15	6	
6.45		
7.15	7	
7.25		
8.15	8	
8.43		
9.15	9	
9.45		
10.15	10	
10.45		
11.15	11	
11.45		
12.15	12	
12.45		
13.15	13	
13.42		
14.15	14	
14.45		
15.15	15	
15.45		
16.15	16	
16.44		
17.15	17	
17.45		
18.15	18	
18.37		
19.15	19	
19.45		
20.15	20	
20.45		

室内試験（　）

掘進月日
7/31
8/1
8/1